

「心の絆プロジェクト」代表者ミーティング アンケート結果まとめ

参加者：児童50名 生徒23名 計73名参加

(1) 今日のミーティングに参加して、不登校についての考えが深まった。

4	すごく思う	61
3	思う	12
2	あまり思わない	0
1	思わない	0

4 件法 3.8

★どのような点が深まりましたか。具体的に書いてください。

- ・一人一人視覚や聴覚で感じるものが違うので「みんなちがってみんないい」、みんなの価値観それぞれ尊重することが大切だと思った。
- ・情報の不安定さや言葉の受け取り方など、普段感じていることを改めて自分の中で考えることができた。
- ・今まで人の認知はみんな違うということを理解していなかったり、決めつけたりすることがありましたが、少数派の人が生まれてしまうので、多様性や少数派を守ることについての考えが深まった。
- ・同じ情報を伝えられたとしても、発信した人の態度、声の高さ、表情といった視覚的情報の受け取り方が違うので、意見が違う点。
- ・「いじめ」が年々増加し、不登校が増え、より深刻な問題になっていること。
- ・いじめの危険度やいじめによる被害があるということ。

(2) 今後、自分の学校で取り組む活動の参考になりましたか。

4	すごく思う	59
3	思う	14
2	あまり思わない	0
1	思わない	0

4 件法 3.8

★2学期以降、どんなことに取り組んでいきたいですか。具体的に書いてください。

- ・今日学んだことをみんなに伝えて、自分と感じ方が違う人もいることを認めることができる活動をしたい。
- ・言語化して具体的な行動は難しいと思うため、中学生なら理解できるぐらいのあいまいさになるが、「みんな違うこと」「公正」「ルールを守る」「助けての重大さ」この4つを呼びかけていきたい。
- ・多様性や認知特性などを周りに広めることを取り組んでいきたい。
- ・全校生で参加するイベントが増えてくる中、「公平」より「公正」に一人一人の意見を尊重してみんなが心から楽しめるイベントをこれから考えていけたらと思う。
- ・今日聞いたこと、話し合ったことを学校に広めるため、まずはクラスで「ダイバーシティ」について話し合い、その後学校で話し合う場を設けようと思う。
- ・2学期は行事が多く、能力の違いが大きく出てしまうと思う。しかし、できないことをできないと言える環境づくりができるようにしたい。
- ・お悩み相談などを取り入れて、いじめのない学校をつくっていったり、差別のない学校をつくったりしたい。
- ・相手を理解し、認め合い受け入れることが大事だとわかったので、自分との違いを個性として受け入れどんな人でも温かく接するようにしたい。